

第3章：部品（素材）収集

第2章までは考える作業でした。この後からは実際にチラシを作るための作業になります。この本を読んでいる方の中には、ワードやイラストレータといったソフトで自分でチラシを作るという方も多いでしょう。もちろん枚数が多いければ、印刷会社や広告代理店などに頼んで印刷してもらうことになるでしょうが、その前に自分で内容を整理し、原稿を準備して明確に内容を伝えることで納期の短縮や、費用削減も可能になるでしょう。またパソコンを使える方は、自分のプリンターで必要なだけチラシを印刷して配ることも可能ですし、作ったデータを印刷会社に渡して印刷してもらうのもいいでしょう。

この第3章ではチラシづくりに必要な部品収集、部品づくりのことをお教えしましょう。いくら第2章までで考えが整理できたとしても部品がなければチラシを作り始めることが出来ません。印刷会社や広告会社に印刷を頼む場合でも部品（素材）がなければチラシづくりは出来ません。

チラシづくりに必要な部品（素材）

商品の写真

店舗の写真

イメージを伝えるイラスト

雰囲気を出すカット

地図

自社のロゴマークやロゴタイプ

最低、この6つの素材がなければチラシを作ることが出来ませんね。

商品や、業種によっては上記の5つがなくてもいい場合もありますが、たいていの場合必要になりますから、準備してください。自分でパソコンを使って作るような場合は、商品写真をデジカメで撮影してもいいでしょうし、店舗の写真などもちょっとコツを覚えれば自分で撮影する事も出来ます。もちろん、より品質がいい写真を撮ろうと思えば自分でするよりもプロのカメラマンに依頼して撮影した方がいいでしょう。プロのカメラマンはライティングなどを専用の機材を使って行いますから、自分たちで撮影した写真よりも遥かに良い仕上がりの写真になります。以前は写真撮影というとポジフィルムで撮影することがほとんどでしたが、最近はプロカメラマンもデジカメを使うようになり始めました。その方がフィルムを使わない分、低コストになります。

